
スマッシュブラザーズで逃走中

スマッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマッシュブラザーズで逃走中

【著者名】

NZコード

【作者名】
スマッシュ

【あらすじ】
スマブラX組で逃走中するよ

スマートなデータ

AIによる分析

スマブラ

はい、こんにちは

作者です。

マリオ「ひひ～勝手に出てくるな～。」

いいじやないか出てきても

ルイージ「まあいいじやなこの兄さん」

リンク「そうですよマリオさん」

マリオ「そつか？」

では、今から逃走中を始める

マリオ「いきなりだな」

ではやつていぐぞ！

ルイージ「早くやろ～よ～」

だったら早くスマブラメンバーを集めで～～よ

マリオ・ルイージ・リンク「は～い」

お前らは子供か！

リ・マ・ル「はははは

次、スマブラメンバーの話になるよ

まぁ、ルールを説明するぜ！（前書き）

前回失敗してサブタイトルがスマブラになってしましました。
すみません。

わあ、ルールを説明するぜ！

さて、今から説明するぞ！

マリオ「はやくしろよ～」
わかつたわかつた。

ルール

今回、逃走する場所はこのスマッシュパーキングにあるスマブラ遊園地だ。

ここで、120分間逃げてもうしき逃げ切れば144万円だ。
しかしハンターにつかまると賞金は0だ。
あるところに電話ボックスがあるその中の電話で自首ができる。
自首が成立するとそのときの賞金が得られる。

健闘をいのる。

マリオ「さてがんばるか！」

ルイージ「ぼくも！」

リンク「私も逃げ切りたいですね」

話が長いのでバス、

バスされた全員「おい」

マスター「今からゲーム始めるから入口に集まれ！」

作者「あつ、マスター。どこに行つてたのさ？」

マスター「この遊園地を探索してた。」

作者「（のんきなやつ）まあ、いいや。わしが言われたように集まれ～」

全員「わ～～～～～～～～

次、スマブラメンバー

さあ、ルールを説明するぜ！（後書き）

つづけるかな？

れあ、始めるか（繪書版）

マリオ「なあ、んとやうのがねのかよ。」

作者「なにか？」

マリオ「いえなにも……」「わー！」

わあ、始めるよ

マリオ「着いた。」

リンク「疲れた～。」

カービィ「ここまでくるのたいへんだよ～」

じやあみんな来たな。

では、これよりゲームを始める。

ファルコ「本格的だな」

君たちの目の前にハンターが3体と鎧が39本ある

君たちはそれを引いていく

たまにいいアイテムをもらえることがある

しかし、はずれを引くとその場でハンター放出だ・・・

健闘を祈る・・・

作者「さあくじを引いて順番を決めよう」

スポ！

マリオ「わあ、1番だ。でも当たりにくいかな？」

ピカチュウ「おお39番だ。絶対に回らない！」

そして、1番はマリオだ・・・

ドンキー「マリオ！いきなりハンター引くなよ！」

マリオ「わかつてるよ！よしカラーはマイカラーの赤だ！いくぞ！」

それ！

ジャララララ・・・

セーフだ・・・

マリオ「やつたーじゃお先

次はルイージだ。

ワリオ「よし、逃げる準備だ！」

ルイージ「こらー、そんなこと言つな～

フォックス「で、何色なんだ。まさか、コケ色じゃないよな？」

ルイージ「いや違うよここは黒色で」

クツパ「なぜなのだ？」

ルイージ「ハンターの色だから、それ！」
マリオとルイージ以外「勝手に引くな！」

セブだ

冷凍餃二つ三三

これはハンター

ルイージ「じやあね」

次に

テテテ・今度はわしソイ!」

二十九、勝の二、三、九

「おぬしは云々の？」

「金だらシト！」

「アーッ、それ俺様が引こうとしたのに！」
「そんなんの速いもん勝ちゾイ！ いくぞ、それ！」

ガシャン

元亨利貞

ホン

二三三
研保

詩詞の二三

「あつデデデつかまつちやた。」

ハンターは神出鬼没それが

逃走中

次回、みんな逃げまくろうぜ！

わあ、始めるよ（後書き）

今回、かなり長かったな～。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7875y/>

スマッシュブラザーズで逃走中

2011年11月23日16時03分発行